

平成30年11月1日会議概要

第1 日時

平成30年11月1日（木）午前9時00分から午前11時55分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(石川委員長) 10月26日に決算特別委員会総括質疑に出席しました。委員から児童虐待に関する質問があり、児童相談所が受理した相談件数は昨年1,663件と、この10年間で約4.5倍になったなどとの指摘がありました。この状況は権利意識の高まりなどにより、徐々に実際の数値に近づいてきたものではないかと思えます。言い換えれば、この間、多くの事案が発覚しないままになっていた可能性もありますので、関係機関と情報を共有しながら、的確に対応していただきたいと思えます。

2 報告事項

(1) 第54回京都府警察拳銃射撃競技大会の開催について

警務部長から、射撃競技大会に向けて集中的な訓練を実施することにより、第一線の現場で職務執行を行う警察官の拳銃射撃技能の向上を図るとともに、その成果を披露し、所属の士気を高めることを目的として、平成30年11月28日に京都府警察射撃場において開催される第54回京都府警察拳銃射撃競技大会の競技方法、競技種目等について報告があった。

石川委員長から、「最近、全国的に凶悪事件が発生し、拳銃を使用することが現実味を帯びてきている。各所属の出場選手には女性警察官1人以上を加えるとのことだが、できる限り多く出場してもらった方が良いと思う。いざという時、女性は相手を制圧する力が男性に比べて弱いので、それを補充する意味で拳銃は必要だと思う。」旨の発言があった。

(2) 平成30年度近畿管区内優秀警察職員表彰等の受賞者決定と表彰式について

警務部長から、長期にわたり職務に精励し、多くの功労があり、警察職員の模範と認められる近畿管区内の警察職員を近畿管区警察局長が表彰する「平成30年度近畿管区内優秀警察職員表彰」、警察活動各分野での功績が特に顕著な警察官に対して京都新聞社が贈る「平成30年度京都新聞警察功労賞」及び産経新聞社が表彰する「第132回近畿の警察官表彰」に関して、それぞれの受賞者、表彰式等について報告があった。

(3) 「南座新開場記念歌舞伎俳優祇園お練り」に対する雑踏警備結果について

地域部長から、平成30年10月27日に行われた「南座新開場記念歌舞伎俳優祇園お練り」

における雑踏警備の実施結果について報告があった。

(4) 第36回京都府警察現場鑑識競技会の実施について

刑事部長から、現場指揮及び現場鑑識の採証技術を競うことにより、鑑識技能及び科学捜査力の充実強化を図り、初動捜査の高度化に資することを目的として、平成30年11月15日に警察学校体育館に設置した模擬現場において開催する第36回京都府警察現場鑑識競技会の概要等について報告があった。

(5) 自主返納パンフレットの配布について

交通部長から、運転免許証の自主返納の促進に向けて、高齢運転者のみならず、その家族についても自主返納に対するネガティブなイメージを払拭し、自主返納を考える機会を創出してもらうことを目的に、自主返納パンフレットを作成、配布することについて報告があった。

(6) 平成30年年末の交通事故防止府民運動の実施について

交通部長から、広く府民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、府民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図るため、平成30年12月1日から同月20日までの間実施される平成30年年末の交通事故防止府民運動の運動重点、期間中の一斉活動等について報告があった。

3 本部長報告

本部長から、

- 委員長から報告のあった児童虐待の相談受理件数については、10年前に比べると、子供の前での夫婦げんかなどの「面前DV」も積極的に算入するようになったので、件数が増加したところはある。面前DVについては、子供に心理的な影響を与えるのは確かであり、児童虐待の前兆事案と捉えて対応したい。
- 南座前の歌舞伎俳優のお練りについては、初めてのことで四条通の南座前から祇園石段下までの間を通行止めにするなどの規制を実施した。今回の行事は継続性はないが、規制時間、区間、方法、警備員の運用等について得られた経験を今後に生かしていきたい。
- 運転免許証の自主返納については、先日、運転免許試験場で一見して運転が無理だと見受けられる高齢者の方が認知機能検査を受けておられる様子を目の当たりにして、免許証返納問題の課題を改めて認識した。自主返納窓口での返納の勧奨とともに認知機能検査による適正な免許交付をしっかりと行っていく必要性を感じた。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について

監察官室訟務官（審理官）から、道路交通法の規定に基づく運転免許の更新処分を受けた者（2件2人）から、原処分を不服として、審査請求がなされたことに伴い、審査請求の趣旨、理由、原処分の内容等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を裁決した。

(2) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、24件の行政処分を決定した。

(3) 運転免許取消処分の執行停止申立てに対する執行不停止の通知について

運転免許試験課担当補佐から、平成29年8月、酒気帯び状態で普通貨物自動車を運転し滋賀県内の交差点で普通乗用自動車と衝突し、普通乗用自動車に乗車していた者に死傷を負わせた男性が、運転免許取消処分の執行停止を申し立てたが、行政不服審査法第25条に定めのある所定の要件に該当しないことから執行停止をしないことについて説明があり、審議の上、執行不停止通知を行うことを裁決した。

(4) 平成6年京都府公安委員会告示第62号の一部改正について

運転免許試験課担当補佐から、一般財団法人京都府交通安全協会に委託する免許関係事務を処理する場所から、京都府右京警察署京北交番及び京都府京丹後警察署久美浜交番を除くため、平成6年京都府公安委員会告示第62号の一部改正を行うことについて報告があり、審議の上、一部改正を了承した。

2 報告事項

(1) 国家賠償請求事件の判決言渡しについて

監察官室訟務官から、無免許運転に係る国家賠償請求事件について、神戸地方裁判所は、平成30年10月10日、原告の請求を棄却する京都府勝訴の判決を言い渡した旨の報告があった。

(2) 沖縄県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備第一課担当補佐から、警察法第60条1項の規定により、沖縄県公安委員会から京都府公安委員会になされた援助の要求に対する京都府警察職員の派遣について報告があった。

(3) 集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例の申請許可状況について

警備第一課担当補佐から、平成30年9月中に受理した「集会、集団行進及び集団示威運動に関する条例」に基づくデモ行進の許可申請に係る専決事務の処理状況について報告があった。

(4) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。